

JR新駅（長岡京駅～山崎駅間） 設置の提案について

長岡京市議会議員 小谷宗太郎

2024年12月27日作成

2025年10月10日改訂

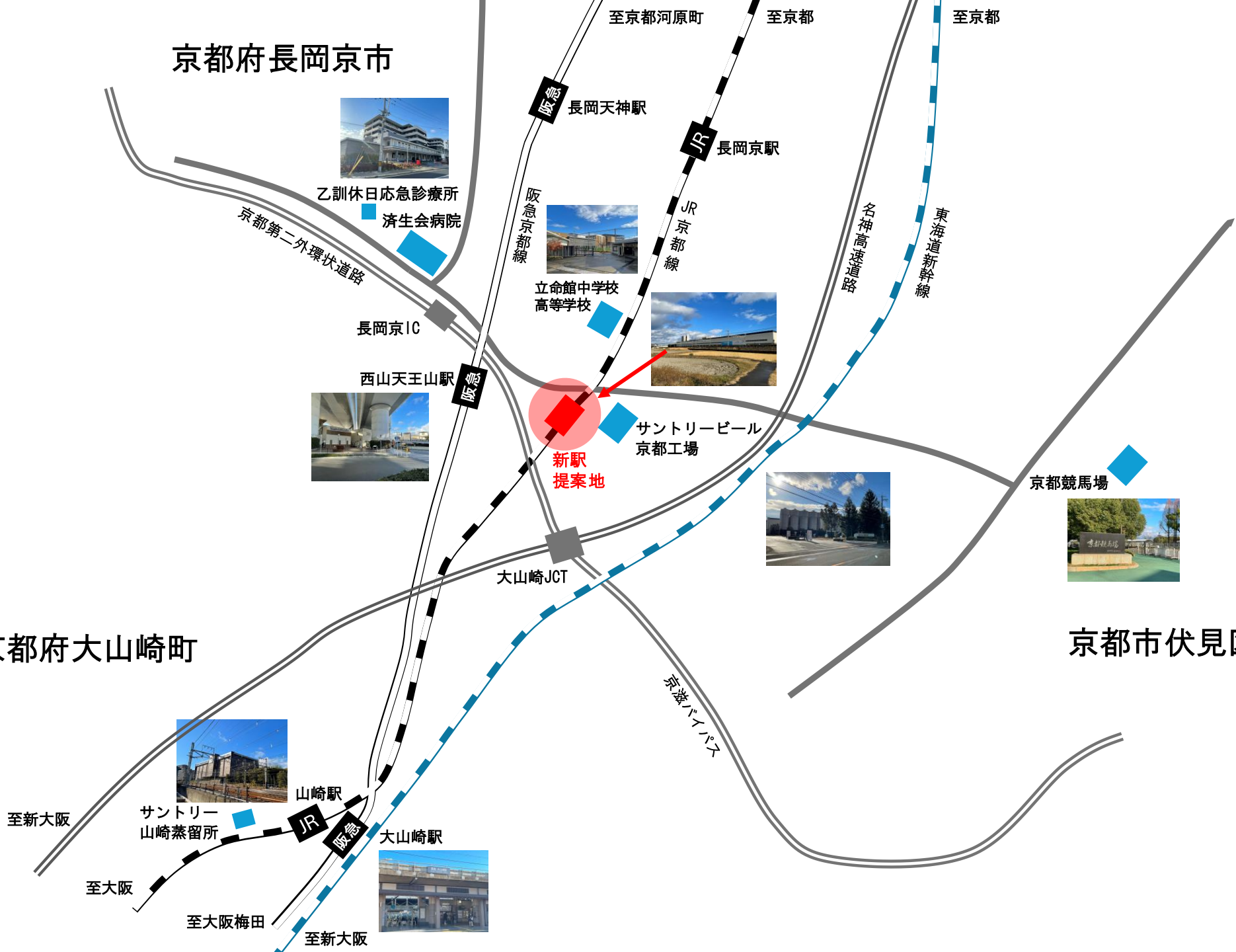
JR新駅(長岡京駅～山崎駅間)提案場所



京都府長岡京市

京都府大山崎町

京都市伏見区



乙訓休日応急診療所
済生会病院



立命館中学校
高等学校



サントリービール
京都工場



長岡京IC

西山天王山駅



京都競馬場



サントリー
山崎蒸留所



大山崎駅

山崎駅

至新大阪

至大阪

至大阪梅田

至新大阪

至京都河原町

至京都

至京都

阪急

長岡天神駅

JR

長岡京駅

阪急京都線

JR京都線

名神高速道路

東海道新幹線

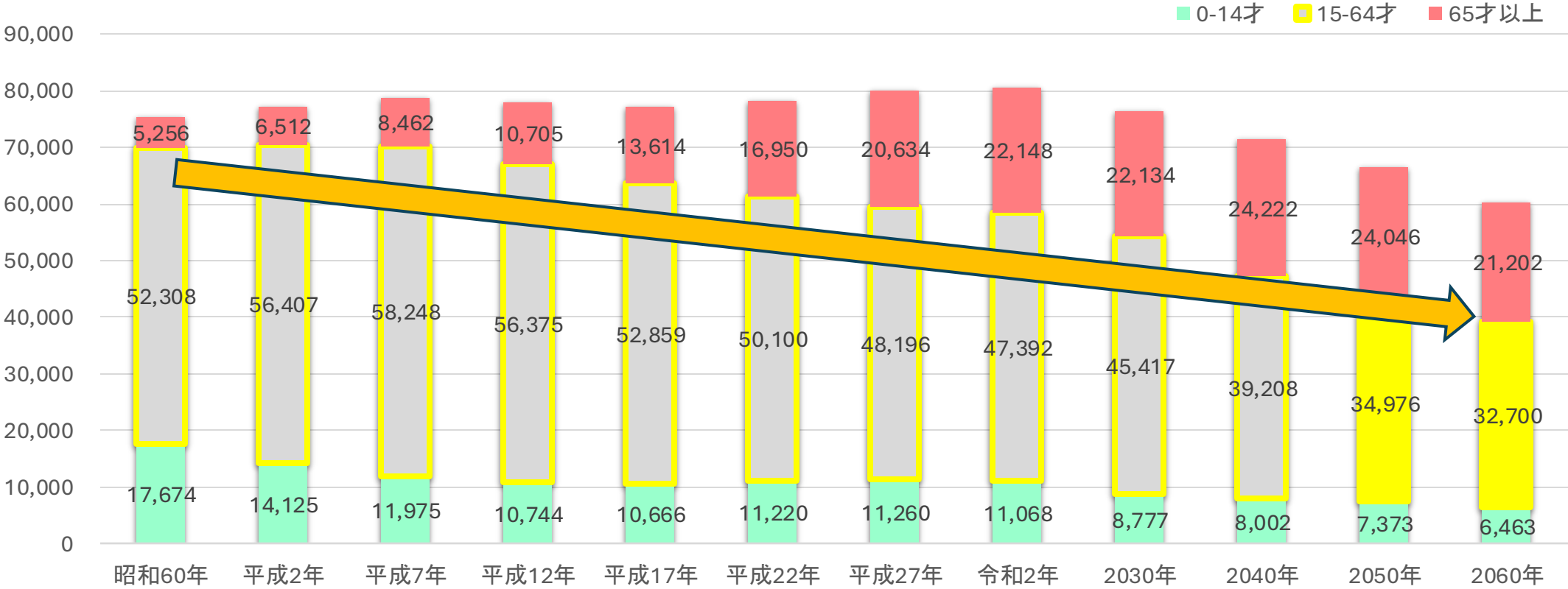
大山崎JCT

京滋バイパス

新駅
提案地

現在の長岡京市の人口と推計

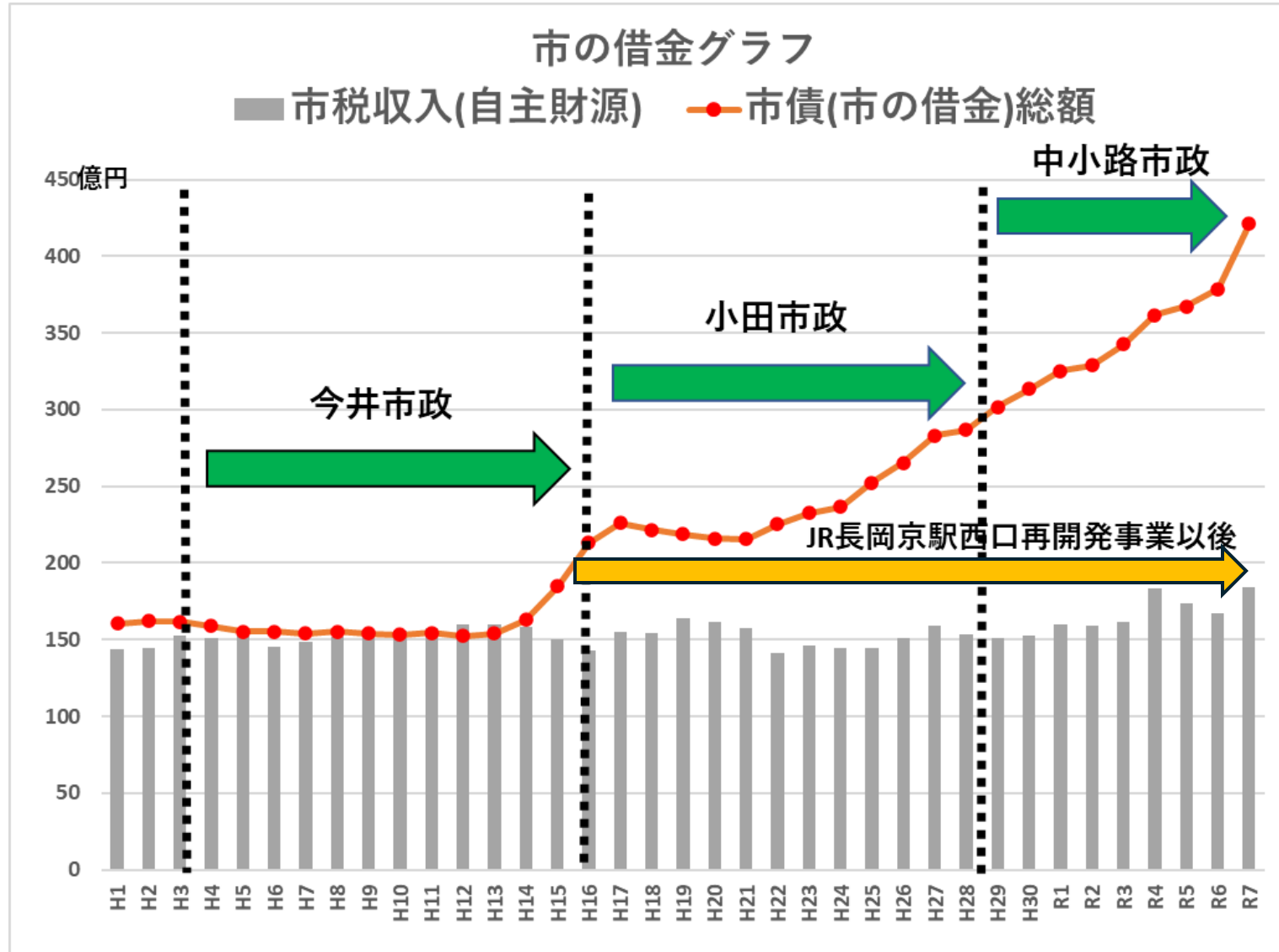
15-64才の人口が減少傾向にあり、2040年代からは3万人台と、税収減少が予想されます。



※2030年～2060年の数値は、国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠

現在の長岡京市の人口は、総数で微増していますが、15才～64才の生産年齢人口は減り続けています。なお、平成17年(2005年)から令和2年(2020年)までの間、0才～14才の子どもの数が減っていないのは、平成25年(2013年)12月(計画は2004年10月)に開業した、阪急西山天王山駅による周辺地域の開発が影響しています。

長岡京市の財政状況



長岡京市の財政状況は、大型開発の失敗や不必要な規模のハコモノ建設などによって、借金の増加、起債の返済額や維持管理費の増大によって、悪化の一途を辿っています。

一方で、市税収入については、ベッドタウンの特徴が出ており、人口変動が少ないため、現状では変動の少ない状況です。

逆に今後迎える2025年問題(団塊世代が後期高齢者となる問題)や2030年問題(団塊ジュニア世代が定年を迎える問題)や生産年齢人口の減少によって、税収が下がっていく事が予想されます。

周辺鉄道駅の乗降客数

単位：人／日	JR長岡京駅	阪急長岡天神駅	阪急西山天王山駅	JR山崎駅	阪急大山崎駅
2014年度(H26)	40,904	36,168	6,537	11,224	7,032
2015年度(H27)	41,204	31,082	11,652	11,290	7,038
2016年度(H28)	41,592	30,247	12,244	11,476	7,184
2017年度(H29)	41,556	30,169	13,261	11,630	7,160
2018年度(H30)	41,610	30,807	13,584	11,784	7,275
2019年度(R1)	41,042	30,708	14,694	11,882	7,411
2020年度(R2)	31,962	22,227	11,466	9,728	5,574
2021年度(R3)	31,244	23,228	13,198	9,540	5,902
2022年度(R4)	33,406	26,322	14,857	10,010	
2023年度(R5)	36,062	26,602	16,035		
2024年度(R6)	37,492	26,586	16,581		

※阪急電鉄のHPで報告されている駅別乗降人員と数値が若干異なるが、長岡京市議会に報告されている数字を採用

周辺鉄道駅の乗降客は、コロナ後のテレワークなどの増加によってコロナ前よりも減少傾向にあるが、阪急西山天王山駅の乗降客数は、周辺地域の開発による人口増加によって、増加し続けている。

※一般的に、駅の利用については、1日5000人以上の乗降客数があれば採算ベースに乗ると言われています。

サントリー〈天然水のビール工場〉京都と JR新駅構想との接点について

- ・昭和4年(1929年)国が軍需工場建設予定地として、地域住民を立ち退きさせる。
- ・その後、建設が行われないうまま終戦を迎え、竹藪が生い茂る放置地区となる。
- ・昭和44年(1969年)サントリービールの第2の生産拠点として開設

この背景によって、周辺のJR線路横には、引き込み線跡が見られる。



JR新駅ができた場合の期待できる効果(1)

- ・駅周辺人口が増加する
- ・土地評価額が増加し、固定資産税の増収
- ・整備費用が約150億円(国、府、市で3分の1ずつ負担、長岡京市の負担約50億円、阪急西山天王山駅の整備費用を参考)と整備費用が安い
- ・整備に約10年程度で開業可能(整備時間が短い)
- ・1日に5000人以上の利用が見込まれ、採算ベースに乗る予測が立つ
- ・京都競馬場、京阪淀駅へのJR最寄り駅となる
- ・サントリービール工場とサントリーウイスキー工場が1駅で結ばれ、従業員の移動や工場見学の移動などが便利になる

JR新駅ができた場合の期待できる効果(2)

- ・天王山や柳谷、小倉神社などへの観光や、恵解山古墳公園、西代里山公園の利用が広がる
- ・西乙訓高等学校、乙訓高等学校、立命館中学校・高等学校への通学の利便性が向上
- ・京都済生会病院への通院や利用が便利になる
- ・乙訓休日診療所への利用が便利になる
- ・周辺地域の開発が進み、地域の商工業が発展する

問題点

- ・2024年に提案したもののなので、まだ長岡京市の基本計画やマスタープランなどにJR新駅開発が無く、そのため市長は請願駅にする考えをまだ持っていない。
- ・2022年問題などによって、時間が経てば経つ程、周辺土地用途の変更手続きが行われ、農地などが宅地転用されてしまい、駅周辺整備が難しくなっていく。
- ・近年の建築費高騰によって、時間が経てば経つ程、総工費が増加していく。